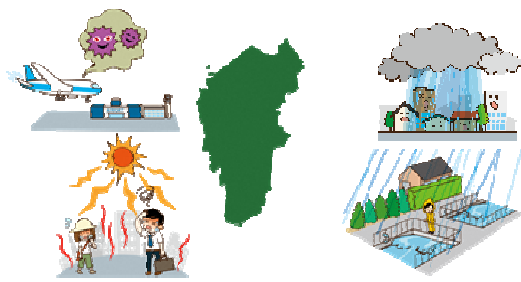


# 第2次豊中市地球温暖化防止地域計画（改定）「とよなか・ゼロカーボンプラン」 概要版

## 序章 地球温暖化とは

- ❖ 温室効果ガスは、地球の大気を程よく温め、地球上の生物が生命を維持するうえで重要な役割を果たしています。
- ❖ しかし、18世紀後半の産業発展以降、石炭や石油などの化石燃料の大量消費によって、大気中の二酸化炭素が増加し、大気中のバランスが崩れています。
- ❖ 地球上の気温や海水温度が上昇すると、豪雨や洪水などの異常気象のリスクが上昇し、気候の変化に伴って陸や海の生態系に大きな影響が生じます。
- ❖ また、農作物の減収や漁業資源の減少などによる食糧不足も懸念され、我々の日常生活に大きな影響を及ぼします。
- ❖ 国内でも、いまだかつてなかった大規模災害が頻発しています。豊中市では、地球温暖化に加え都市化も進み、猛暑日や集中豪雨などの異常気象の増加、これに伴う河川の氾濫や空港からの感染症の侵入リスクも懸念されます。
- ❖ 地球温暖化対策には、温室効果ガスの排出削減などの「緩和策」だけでなく、すでに現れている気候変動の影響や、今後温暖化が進んだ場合に生じる被害を低減するため、気候変動への「適応策」も重要です。



## 第1章 第2次豊中市地球温暖化防止地域計画の改定にあたって

### 【地球温暖化防止に向けた国内外の取り組み】

- ❖ 地球温暖化防止に向けた国際的な取り組みは、平成21年（2015年）に、「気候変動枠組条約」の加盟国間で開催された締約国会議（COP21）で採択された「パリ協定」をきっかけに、大きく加速しました。
- ❖ 「パリ協定」を受け、温室効果ガス排出量実質ゼロ（カーボンニュートラル）をめざす動きが本格化し、日本政府も、令和3年（2021年）10月の「地球温暖化対策計画」で、『2050年までに温室効果ガスの排出量を全体としてゼロにする』、また『2030年度に温室効果ガスを2013年度から46%削減することをめざし、さらに、50%の高みに向けて挑戦を続けていく。』と表明しました。

### 【地球温暖化防止に向けた豊中市の目標】

- ❖ 豊中市では、平成29年度（2017年度）に、「第2次豊中市地球温暖化防止地域計画（チャレンジ<sup>マイナス</sup>70プラン）」を策定し、市民や事業所のみならず、さまざまな温室効果ガスの排出抑制に向けた取り組みを行ってきました。
- ❖ 令和3年（2021年）2月には、吹田市と気候非常事態を共同で宣言し、2050年ゼロカーボンシティを表明しました。
- ❖ こういった背景から計画を見直し、以下の目標を設定しました。

### 計画の目標

市民1人あたり温室効果ガス排出量

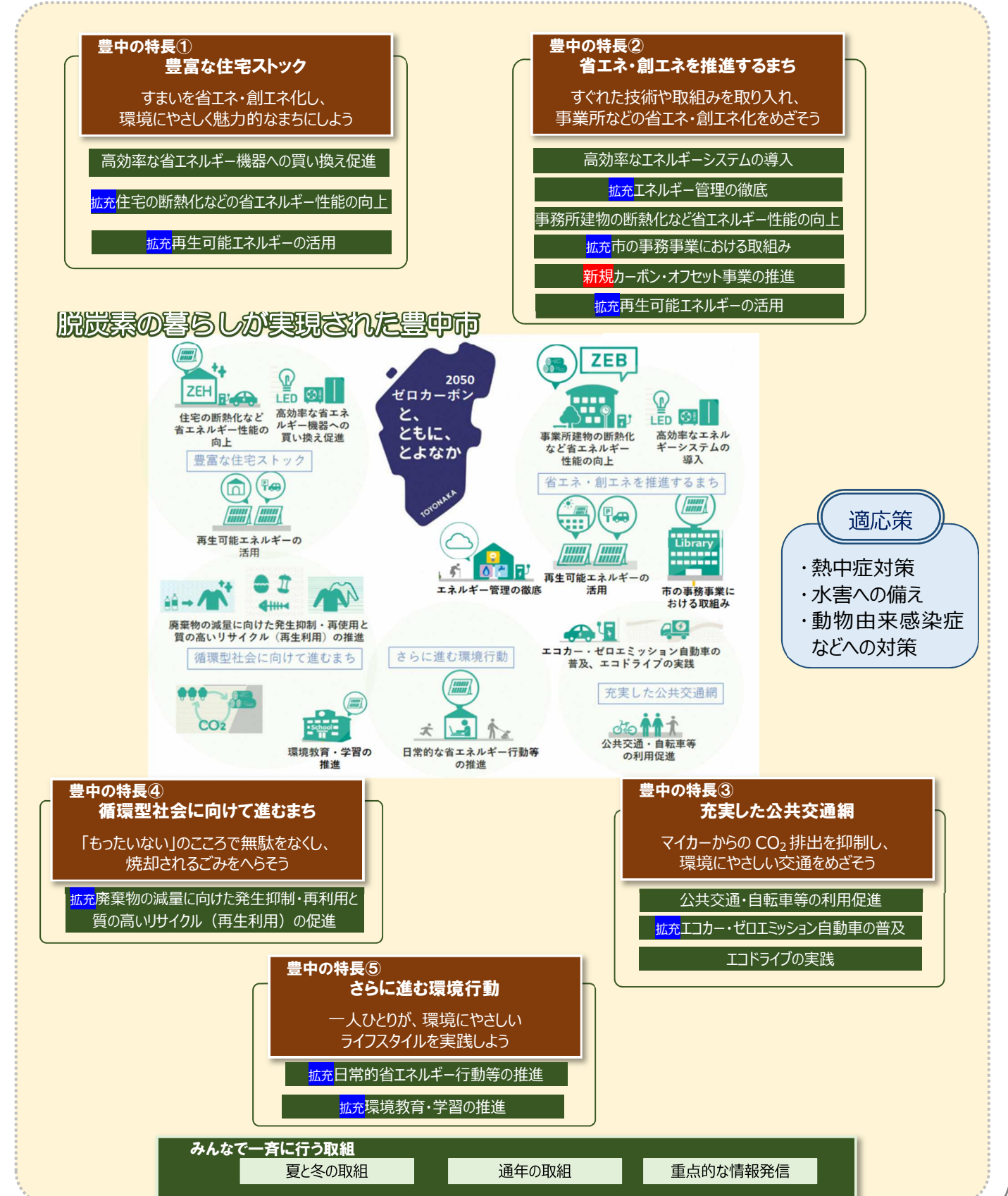
◎平成2年度（1990年度）比で令和9年度（2027年度）までに38.3%削減

◎令和32年度（2050年度）までに実質ゼロ

## 第2章 豊中市で展開する地球温暖化対策

### 【豊中市の地球温暖化対策の考え方】

❖ これまでの取り組みを中間総括したうえで、今回の見直しにより、以下のように施策の内容を再整理しました。



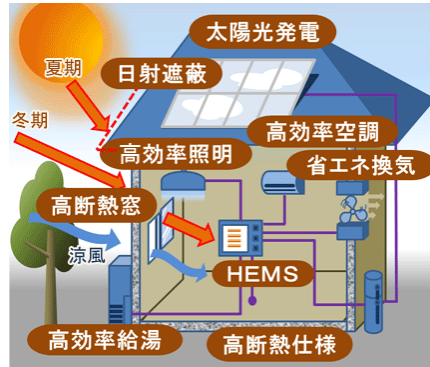
## 第2章 豊中市で展開する地球温暖化対策

### 【新たに実施する取組みや既存の取組みの拡充を行う主な項目(抜粋)】

#### 豊中の特長① 豊富な住宅ストック

##### 住宅の断熱化など省エネルギー性能の向上

- ❖ 住宅都市である特徴を生かし、家庭の省エネルギー化を進めていきます。
- ❖ 既存住宅…ZEH化、太陽光発電、家庭用燃料電池システム(エネファーム)、断熱リフォーム、蓄電池の導入を支援します。
- ❖ 新築時…ZEH化、家庭用燃料電池システム(エネファーム)、断熱性能の高い建材や工法、蓄電池などの導入を支援します。



##### 再生可能エネルギーの活用

- ❖ 地域での発電(固定価格買い取り制度が終了した電源を含む)を地域で消費することによる、電力の地産地消を検討します。

#### 豊中の特長② 省エネルギー・創エネルギーを推進するまち

##### 市の事務事業における取組み

- ❖ 市有施設における再生可能エネルギー導入促進や施設の更新、大規模改修時におけるZEB化を検討します。
- ❖ EV・PHEV・FCEV車等、環境に配慮した公用車への切替えを促進します。
- ❖ 大阪府との事業やNATS4市(西宮市、尼崎市、豊中市、吹田市)との協定に基づく事業を推進します。

##### カーボン・オフセット事業の推進

- ❖ 豊富な森林資源を有する地域との連携を深め、CO2吸収量認証制度等(カーボン・オフセット)等を活用します。
- ❖ 豊中市木材利用基本方針の策定を検討し、公共建築物等における木材の利用を推進します。また、事業者による木材利用促進に資する情報提供を実施します。

#### 豊中の特長③ 充実した公共交通網

##### エコカー・ゼロエミッション自動車の普及

- ❖ 自動車販売業者等との協力によるエコカー・ゼロエミッション自動車の普及啓発を進めます。
- ❖ 電気自動車の新たな充電設備の設置を促進します。



#### 豊中の特長④ 循環型社会に向けて進むまち

##### 廃棄物の減量に向けた発生抑制・再利用との質の高いリサイクル(再生利用)の促進

- ❖ 「豊中市食品ロス削減推進計画」(令和4年(2022年)3月策定)に基づく取組みを推進します。

#### 豊中の特長⑤ さらに進む環境行動

##### 日常的な省エネルギー行動等の推進

- ❖ 近隣自治体や地元高校などと連携し「COOL CHOICE」普及啓発に関する動画を作成します。

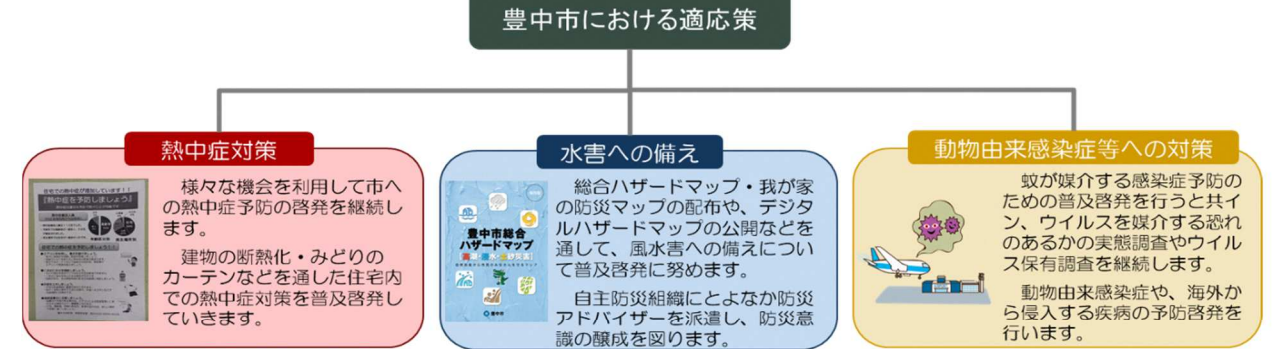
##### 環境教育・学習の推進

- ❖ 隠岐の島町、能勢町との協定に基づく自然体験環境学習プログラムを実施します。



### 【豊中市が推進する気候変動への適応策】

- ❖ 「適応策」とは、すでに私たちの生活に表れている地球温暖化をはじめとした気候変動による影響や、将来発生しうる被害を回避したり低減したりするための対策のことで、温室効果ガス削減などの「緩和策」とあわせて気候変動への適応を進めていくことが不可欠となります。
- ❖ 豊中市では、「熱中症対策」「水害への備え」「動物由来感染症への対策」が必要と考え、計画に基づいて温室効果ガスの排出抑制の取組みを推進するとともに、災害対策や保健などの関連する分野と連携し、リスクを踏まえた対応の強化を図ります。



- ❖ 市有施設におけるクールスポットの拡充や室内熱中症対策に事業者と協働して取り組みます。
- ❖ 市民のみなさまが一時的に暑さから逃れることのできる「クールスポット」を市内約70か所に設けています。また、「クールスポット」のうち、市役所や公民館など6施設に、マイボトルが使用できる給水機を設置しています。



## 第3章 計画を推進するために

### 【計画の進行管理に用いる指標】

- ❖ 計画では、以下の代表指標を中心に、「とよなかの環境(豊中市環境報告書)」を活用して進捗状況を毎年点検し、目標の達成に向けて取組み内容を改善するPDCAサイクル(Plan(本計画)-Do(取組み)-Check(評価)-Act(施策・取組みの見直し))のしくみのもとで、適切な評価と見直しを重ねつつ、目標達成に向けた取組みの内容を改善していきます。

代表指標：市民1人あたり温室効果ガス排出量(t-CO2/人)

指標のうち、部門別温室効果ガス排出量、業務部門の床面積1㎡あたりのエネルギー消費量、家庭部門の市民1人あたりエネルギー消費、再生可能エネルギー等設備導入量には数値目標を設定し、新たに、市民1人あたり自家用車の登録台数、市内に登録された自動車1台あたりの温室効果ガス排出量、市内に登録された自家用乗用車のうち電気自動車等の割合という指標を追加しました。

実行の改善

計画の実行

【PDCAサイクルによる点検】

